



ジャガイモの植えつけは、切り口を上下のどっち向きにするの

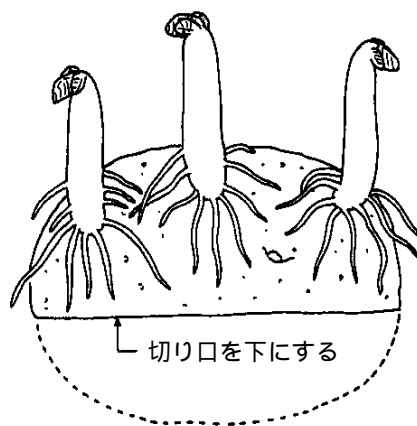
ジャガイモは、芽の出る所を上にする

春先に、保存してあったジャガイモに、いくつも芽が出かかっていたり、芽や白い根のようなものが、のびていたりしたのを見たことはありませんか。ジャガイモは、ふつう、種ではなく、イモを土に植え、新しいジャガイモを収穫します。この種のかわりに植えるイモを、種イモとよんでいます。ジャガイモのくぼんだ所には、芽のもとがあり、まるとジャガイモを種イモにすると、芽がたくさん出すぎて、葉などがよく育ちません。そのため、成長のとちゅうで、多すぎる芽をとってしまうか、最初から、芽の出る部分が入っているように、種イモを2～4個に切ってから、植えつけます。

このとき、芽の出るくぼみが上になるよう、つまり、切った切り口が下になるようにして植えつけます。芽は、上に向かってのびていくからです。

葉がしげるまで種イモの栄養分で育つ

芽が出て葉が広がるころまで、種イモの栄養分で成長します。やがて、葉の中で、葉緑素が日光の助けをかりて、二酸化炭素と水から、でんぷんなどをたくさん作る（光合成という）ようになると、土の中で、小さいジャガイモができてきます。植えて3か月もすると、種イモは栄養分を使い果たして、しわくちゃになり、まわりには、太った新イモがたくさんできています。（監修・矢野 亮）



イモの植えつけ方

